



3
March

男
女
共
同
参
画
っ
て
？

INDEX

02 特集 男女共同参画を考える

- 08 四日市PLUS スマートに乗って残そう公共交通
- 10 きらり四日市人 堤大伽さん
- 11 そらんぼ四日市へ行こう / こにゅうどうくんのお部屋
- 12 公共施設大量更新問題
- 13 市政最前線 / 四日市まちかどニュース
- 14 編集後記 / 広報紙で動画を見よう / 市の情報発信源

平成31年(2019年)3月5日発行

3月上旬号 No.1520

編集・発行 / 四日市市役所
広報マーケティング課

代表電話(総合案内) ☎354-8104
〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号
HP <https://www.city.yokkaichi.lg.jp>

あなたへ



「男の子なんだから泣いちやダメ」

「女の子はおしとやかにしなきゃ」

「子どものことは母親に任せたら？」

「女性ならそんなに働かなくてもいいんじゃない？」

そんな言葉や態度に苦しい思いをしたことはありませんか

性別に関わらず誰もが自分らしく生きられるように

“男女共同参画”について 一緒に考えてみませんか

ちゃんねる
連動

今回の特集の内容は
市政情報等提供番組
「ちゃんねるよっかいち」



地デジ12ch(CTY)でも紹介します。

- 3月21日(祝)～31日(日)放送
- 月・水・金・日曜日 9:30、20:30
- 火・木・土曜日 12:30、20:30

男女共同参画センター
「はもりあ四日市」より



男女共同参画社会 ってなんだろう？



自分らしく生きる

自分らしく生きるために大切なこと、必要なことは何だと思いますか？

母こそ働いて、その姿を子どもに見せてほしい

株式会社Eプレゼンス
代表取締役 川北 睦子^{ちかこ}さん



子育てしながら再び働こうと思ったとき、元々していた設計の仕事は残業時間の多さなどから断念せざるを得ませんでした。一方で、独学で作成していた「お家紹介サイト」が人気になり、Webの可能性に惹かれた私はWebの世界へ。起業当初は自分が企画・営業を行い、在宅のデザイナーなどに外注する形でしたが、5年前に法人化してチーム化しました。子どもに「お帰り」を言えるようにという思いから、スタッフは基本的に在宅で仕事をし、勉強会や打ち合わせのときしか出社しません。社員として在宅で働くという形態はまだ珍しく、自社で実証実験中です。

私は母が働く姿を子どもに見せることこそキャリア教育だと考えています。社会に出ることで地元企業のことを知ったり、子どもと仕事の話をしたりしてほしい。フルタイムでバリバリ働くことがすべてではなく、子育てを優先したいならそれもいい。自分の意思で選べることが大切です。今後は、社外へも社員の在宅勤務や業務委託(フリーランス)などの働き方を提案していき、人材不足に悩む企業と母の距離を近づけ、共に地域の子どもを育てる地域社会づくりに貢献できるよう、情報発信していきます。



女性起業家4人と市長によるパネルディスカッション



これまでのことが全て今につながっている。今が一番面白い

NPO法人
四日市男女共同参画研究所
代表理事 坂倉 加代子^{かよこ}さん



私が就職する頃、志望していた新聞記者の道は性別を理由に門戸が閉ざされていました。そこで、働き続けられる仕事として選んだのが公務員です。「この課は何をやるどころか。この課の主人公は誰か」ということを常に念頭に置き、大らかに構えつつ既存の枠を乗り越えて仕事をしてきました。仕事も家事も育児も「完璧にやらなくて」とは考えず、親戚や友人、近所の人たちにたくさん助けられました。退職後は、もっとやりたいと思ったことや行政ではできないことを実行するため、さまざまなバックグラウンドを持つ人たちと一緒に緩やかに活動しています。

NPO法人四日市男女共同参画研究所では、女性の困っている声を集め、それをテーマに調査や学習会などを行っています。今までで特に印象に残っているのは、災害時における男女共同参画の視点の重要性を訴えた、内閣府の受託事業ですね。NPO法人と行政が協働し、自治会連合会の協力も得られたことで、地域に広めることができました。

「仕事も家事も地域活動も、そして喜びも苦しみも、男女が一緒に分かち合える社会にしたい」という思いのもと、今後も活動を続けていきたいと思っています。



はもりあフェスタでの介護者向けワークショップ



「子どもがいるから…」と諦めないで、やってみる

ヨガサークル ガレット
代表 中村 美帆さん



リラックスヨガ教室(さんかくカレッジ市民企画)

週末には趣味のトライアスロンを楽しんでいた会社員時代。学生の頃から続けていたヨガが、仕事や趣味で疲れた心と体を癒してくれました。産後、子連れで参加できるヨガ教室が少ないことに気付き、「それなら自分で作ろう」と、近所の集会所や児童館でヨガを開催。その後、年齢問わず誰でも参加でき、赤ちゃん連れもOKのヨガ教室を始めました。元々不器用で、失敗も多いです。しかし、仕事でも育児でも、失敗するからこそ前に進む道が開けたり新たな発見があったりすると思っています。



失敗しても大丈夫。
だから
いろんなことに
チャレンジすること!!

料理やお菓子作りが好きで、育児の合間に地域の先輩たちから教えてもらうこともあってありがたいです。自分自身が楽しんで過ごすことで、育児や仕事にもゆとりを持って取り組めると思います。今後は子連れOKの地産地消おやつ教室なども企画中です。おいしい地元食材に触れ、親も子ども食に関心を持ってもらえたら、そして運動や食を通して少しでも心にゆとりを持つきっかけを提供できたらうれしいです。

子どもと接せられる期間は短い。楽しまなければもったいない

パパスマイル四日市
代表 宮崎 秀樹さん



父親の子育てマスター養成講座

9年前、初めは軽い気持ちで「父親の子育てマスター養成講座」を受講しました。それまでは「自分は子育てをやっている」と自負していましたが、実は違ったのだと気づき、衝撃を受けました。受講後は、パートナーとのコミュニケーションをより深くとるようになり、うまくフォローし合えるようになりました。また、父親同士で子どもの話をするようになり、子育てにおいて正解へのアプローチは一つではないということも仲間から学ぶことができました。そして、子育てを通じて地域や人と関わることで、自分の世界も広がりました。



家族 仲間
出会い 笑顔

「パパスマイル四日市」は養成講座修了生の有志のグループで、養成講座やよかパパフェスティバルを手伝ったり、イベントに呼ばれて親子向けの企画を催したりしています。活動を通じて、「子育てを楽しまなきゃ」という思いを伝えていきたいと思っています。

平成30年度四日市市「男女がいきいきと働き続けられる企業」表彰で奨励賞を受賞



株式会社東産業
取締役
秋田 貴彦さん

3年間の育児休業期間や期限のない短時間勤務制度など、法律の規定以上の基準を設け、職場に復帰しやすい環境整備に取り組んでいます。また、社員の健康を重要視しており、健康診断なども手厚くしています。さらに、時間管理を徹底し、業務量の偏りをなくして時間外労働の削減にも成果を上げました。

社員が「ここで働いてよかった」と誇りに思い、仕事を長く続けられる会社であるよう、今後も新たな取り組みを進めていきたいと考えています。



株式会社東海テクノ
総務部 部長
市田 明さん

有害物質を取り扱う作業では通常時でも安全に配慮していますが、妊婦・産婦から申し出があったときは作業の変更を行うなど、女性従業員が働きやすい環境を整えています。また、残業課題シートから残業の根本的な原因を究明し、5年前に独自の工程管理スケジューラーを完成させました。その日必要な業務や月間の繁忙期が見えることにより、残業削減や有休取得が促進されるとともに、業務上の課題や特定の人しかできない業務の見える化にもつながっていると感じています。

はもりあ四日市

どんななイメージ？

市民と行政が協働して
男女共同参画を
進めています

学習機会の提供

- さんかくカレッジ
- 連携映画祭
- ワーク・ライフ・バランス出前講座 など

調査・研究

- 男女共同参画に関する調査・研究
- 他センター事業の調査 など

情報提供・収集

- 図書・資料などの収集
- 情報紙「はもりあ」発行
- ホームページ運営 など

5つの機能

相談

- 女性のための相談
- 「働くウーマンナビ」
- 男性のための電話相談 など

市民グループの 交流・活動支援

- はもりあフェスタ
- 登録グループのつどい
- 市民企画による講座開催 など



男女共同参画課
松永大輝

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働というすてきな“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。男女共同参画センター「はもりあ四日市」では、男女共同参画社会を実現するため、各種施策を総合的・計画的に実施しています。また、市・市民・事業者による男女共同参画の取り組みを支援する拠点として、事業を展開しています。



男女共同参画に関するホットな話題をお届けする情報紙「はもりあ」を毎月発行しているのので、ぜひ地区市民センターやホームページ(HP <http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>)などでチェックしてみてくださいね。



▲さんかくカレッジ2017
男性向け料理教室



▲ワーク・ライフ・バランス
シンポジウム



◀子育て世代のための
マナー講座

はもりあ四日市



- 所在地**
本町プラザ3階(本町9-8)
- 開館時間**
9:00~21:00
- 休館日**
日・月曜日、祝日、年末年始

「男女共同参画プランよっかいち2015～2020」を見直しました



男女が性別にとらわれることなく、自分の力を発揮して多様な働き方や生き方を選択できる男女共同参画社会を実現するために、市として施策を総合的かつ計画的に進めていくための基本計画。平成30年12月に、「《男女共同参画プランよっかいち2015～2020》後期 平成30(2018)年度～平成32(2020)年度」を新たに作成しました。

→詳しくは、市ホームページ(HP ID 1001000000884)へ

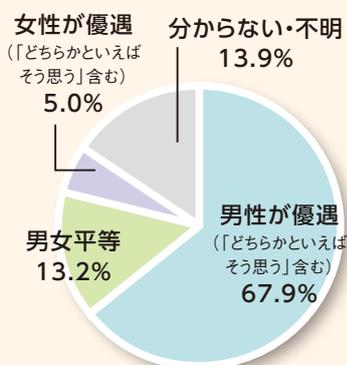
見直しのポイント

- ① プラン推進に当たっての重要な視点を見直し、「**職業生活における女性の活躍推進**」を追加
- ② 「**女性の職業生活における活躍の推進に関する法律**」(平成27年8月成立)に基づく市町村推進計画として位置付け
- ③ 今後、充実・強化を進める項目を以下に変更
 - (1) 情報発信の強化
 - (2) 地域における男女共同参画の推進
 - (3) ワーク・ライフ・バランスの推進
 - (4) 四日市市役所における女性活躍とワーク・ライフ・バランスの推進
 - (5) DV 予防教育及び相談体制の充実
 - (6) 女性のエンパワーメント



市民意識調査から見える四日市市の現状

男女の平等感について (社会全体)



※四日市市男女共同参画に関する市民意識調査(平成29年8月実施)より

社会全体で男女平等と感じている人は、13.2%にとどまっており、前回調査よりも下がっています。分野別で見ると、特に「社会通念・慣習しきたり」で「政治の場」「職場」などの分野で男性優遇と感じる人が多いことが分かりました。

<その他の項目から見える現状>

- 本人が希望する就業形態(正職員、非正職員、主婦・主夫)と現状の差は、女性の方が大きい
- ワーク・ライフ・バランスを実現できている人は、男女とも約3割にとどまっている
- 女性が役職(自治会・PTAの代表、職場の管理職など)に就くことへの抵抗感は、男性より女性自身の方が強い など

➡ 調査結果をプランに反映

スマートに 乗って残そう公共交通

四日市市の公共交通の現状

車への依存が増加

中部地方は、自動車交通への依存度が高い地域ですが、平成23年度の「中京都市圏パーソントリップ調査」※によると、本市でも約3分の2の人が移動手段として自動車を選択しています。この傾向が強まると、道路渋滞を引き起こしたり、バスや鉄道が維持できなくなったりするなどの問題が発生します。
※パーソントリップ調査とは…「誰が」「どこから、どこまで」「どのような目的で」「どのような交通手段で」移動したかについての調査

鉄道の利用者は回復

市内には、近鉄名古屋線やJR関西本線、伊勢鉄道が南北の広域的な移動を支え、内陸部には近鉄湯の山線、三岐鉄道三岐線、四日市あすなろう鉄道内部・八王子線が運行されており、鉄道の利用者数は微増となっています。

バスがピンチ

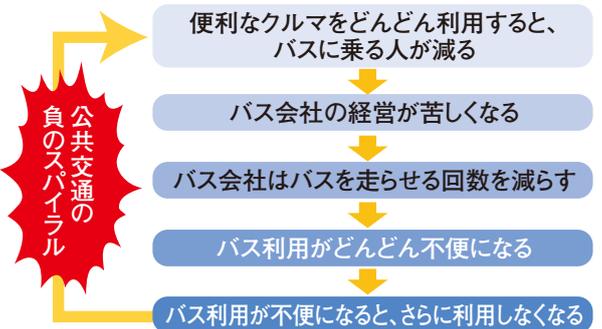
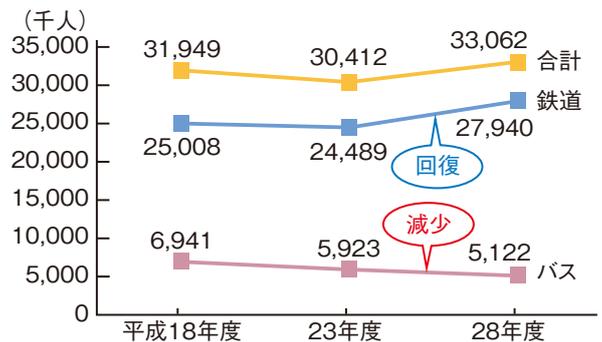
三重交通バス、三岐鉄道バス、NPO法人が運行する「生活バスよっかいち」、市がバス会社に運行を委託している「自主運行バス」があります。しかし、利用者は年々減少しており、現状のバス路線網を維持することは難しくなっています。

平成29年度末には鈴鹿四日市線が廃線になったほか、内部駅を経由し、和無田まで運行している長沢(B)線の存続が危ぶまれています。

今後の利用状況により、他の路線も同じ状況になることが懸念されます。



■近年の公共交通利用者の推移(過去10年間)





公共交通がなくなって困ることは？

免許返納を考えているけど、通院や買い物に行けるか不安だわ。

普段は、自転車で学校に通学している。だけど、雨の日にはバスや鉄道を使いたい。



元気な公共交通を目指して

今からできることをしっかりと考えていくことが重要です

地域の取り組み

公共交通を守るため、地域の皆さんにも、さまざまな利用促進を行っていただいています。例えば、「神前地区まちづくり・バスプロジェクト」では、バスを使って、陶芸体験などを行う“ミニツアー”を開催していただいています。また、「大瀬古町子供と地域の環を育む会」でも、鉄道の乗り方に不安がある子どもを対象に、「こども鉄道乗り方教室」などを開催し、子どもに公共交通の重要性を理解してもらう取り組みが行われています。



イルミネーション列車



シースルー列車

四日市あすなろう鉄道の取り組み

四日市あすなろう鉄道が誕生して、もうすぐ5年目を迎えようとしていますが、特に、通学定期の利用者が年々減少しています。

市ではこれまで、さまざまな利用促進を行っており、平成30年度の新たな取り組みとして、「イルミネーション列車」（11月から1月まで）や「シースルー列車」（1月から）の運行を行っています。

この「シースルー列車」は車内床面の一部を透明化した特別仕様の列車であり、車輪が動く様子などが観察できる全国的にも珍しい車両です。ぜひ乗っていただき、お楽しみください。

また、あすなろう鉄道では、この春から、従来の通学定期乗車券よりも、お得な値段で購入できる「1年通学定期乗車券」を販売し、通学に使っていただきやすいよう、取り組んでいます。

モビリティ・マネジメント(Mobility Management)とは、「過度に自動車に頼る状態」から「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を賢く利用する状態」を目指す取り組みのことです。



「車の利用を止める」というわけではありません。「今日は、エコ通勤デーなので、本を読みながら電車やバスで通勤しよう」など、**車や公共交通、自転車、徒歩を上手に使い分け、より良い生活を考えてみませんか。**

市では、1人当たりの公共交通の利用回数(1カ月間)を「10回」とすることを目標としています。これまでの最高回数でも「9回」でした。ぜひとも、皆さんで目標を達成しましょう。

賢く公共交通を利用する

～モビリティ・マネジメント～





老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」取材して、その人の言葉で四日市の魅力などをお伝えするコーナーです。

■CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。
 日時：3月1日～31日
 月水金日 9：30、20：30
 火木土 12：30、20：30

■CTY-FMで毎月第2・第4日曜日放送の「よっかいちわいわい人探訪！」でも紹介します。
 日時：3月10日、24日
 8：54、14：54

たいが
堤大伽さん

全日本スキムボード選手権大会エキスパートクラスで第2位に入賞した中学3年生の堤さんに、スキムボードの魅力と今後の目標や夢などお伺いしました。



■魅力的なマリンスポーツ “スキムボード”

スキムボードとは、砂浜から波打ち際で行うマリンスポーツの一種です。長さ130cm前後、厚さ2cm程度のボードを持ち、波に向かって走り込み、引き波のときにできる薄い水の層に板を滑らせます。そして、タイミングを計って板に飛び乗り、せり上がる波に乗って頂点に登り詰め、しぶきを上げながらターンをして浜まで戻ってくる競技です。浜に戻ってくるスピードや技の華麗さを競います。波のコンディションに合わせて技を練り出す面白いスポーツです。波打ち際で行うので、安全で子どもや女性も気軽に始められます。

練習は、主に志摩市の市後浜で行っています。志摩市のビーチでは、多くの方がマリンスポーツをしていて、スキムボードの仲間に技を教してもらいながら楽しく練習しています。



■きっかけはお母さん

母は昔サーフィンをやっていて、自分もビーチに連れて行ってほしい、砂浜で遊んでいました。しかし、沖まで出るサーフボードは、子どもに目が行き届かなくて心配という理由で、スキムボードに切り替えたそうです。

初めて板の上に乗ったのは4歳のときです。まだまだ砂遊びをしている方が楽しいと思っていました。でも、板に身長が追い付いてきた小学4年生の時、初めて大会に出場しました。獲ったのは「将来が楽しみで賞」。キッズクラスなので順位はありませんでしたが、とてもうれしかったのを覚えています。

それから、多くの大会に出場し、たくさんのメダルや賞状をいただきました。



■夢はプロでの優勝

昨年10月の大会のエキスパートクラスで第2位に入賞し、晴れてプロクラス入りを果たしました。レベルの高いところで競えると思うと、ワクワクすると同時に、もっと技を磨かなければいけないという思いがあります。目標はプロクラスでの優勝です。そして、いつかスキムボード発祥の地であるアメリカの大会に出場することが夢です。



また、日本のスキムボード競技人口をもっと増やすために、イベントや後輩育成などに貢献し、スキムボード界を盛り上げていきたいと思っています。

～創業160有余年の信用と実績 お葬式・家族葬のことなら24時間365日お電話ください～

有料広告掲載欄

株式会社 ふじや本店

光倫会館

☎0120-114248

■本社／四日市光倫会館
 〒510-0836 四日市市松本町北大谷2015
 【TEL】059-351-1151 【FAX】059-351-4224

■光倫会館 桜ホール
 〒512-1211 四日市市桜町6613
 【TEL】059-325-2482 【FAX】059-325-2483

■富田光倫会館
 〒510-8014 四日市市富田2丁目3-7
 【TEL】059-361-2481 【FAX】059-361-2482

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



もうすぐ開館4周年！

四日市公害と環境未来館は3月21日、開館4周年を迎えます。3月23日には、慶應義塾大学特任教授



(元環境省事務次官)の小林光さんによる記念講演を開催します。

私たちの暮らしが地球温暖化問題に与える影響について、考えてみませんか。参加方法など詳しくは、広報よっかいち2月下旬号6ページ

小林光さん

「博物館」「プラネタリウム」「四日市公害と環境未来館」の見どころなどを紹介します。

開館時間 9:30~17:00(展覧会への入場は16:30まで)
3月の休館日 4日(月)・11日(月)~15日(金)・18日(月)・25日(月)
4月の休館日 1日・8日・15日・22日(いずれも月曜日)
※4月29日(祝)は開館します



をご覧ください。

語り部 野田之一さん逝去

1月25日、当館の語り部・野田之一さんが87歳で亡くなりました。野田さんは、原告として、四日市公害裁判を起こした経験や、その後の四日市の様子を語り継ぐ活動を続けてきました。

当館においても、環境を守ることの大切さを力強い言葉で多くの来館者に伝えてくださいました。私たちはその想いを引き継ぎ、これからも公害の歴史と教訓を風化させること

なく、未来に豊かな環境を手渡すために、当館の使命を果たしていきます。

野田さんが残された証言は、当館の常設展示室およびホームページで閲覧ができます。ぜひ、ご覧ください。



子どもたちに公害の経験について語る野田さん(昨年8月)

問い合わせ先

四日市公害と環境未来館
(☎354-8065 FAX329-5792)



こにゅうどうくんの
お部屋

第36回

とこわかダンスを踊ってみたよん

2021年開催の「三重とこわか国体・三重とこわか大会」に向けて、すてきなイメージテーマソングが作られたよん。松阪市出身の野田愛美さんが歌う「未来に響け」は、とっても明るくて元気が出る曲なんだ。みんなが踊れるダンスの振り付けがあるって聞いたからさっそくボクも踊ってみたよん。

市のマスコットキャラクター「こにゅうどうくん」のコーナーだよ。「三重とこわか国体・三重とこわか大会」のPRダンスを踊ってみたのでご紹介するよん。



ボクがダンスする映像は、下のURLから見ることができるよん。振り付けも公開されているから、みんなも踊ってみてね。

HP<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/kokutai2021/kokutai/index.html>



問い合わせ先

観光交流課
(☎354-8286 FAX354-8315)

有料広告掲載欄



店頭・出張買取OK!
創業106年の歴史と信頼・実績!

紺文 智の屋小町 KONBUN KOMACHI

着物買取

貴金属・ジュエリーも高価買取中!

059-352-4253

■四日市市鵜の森1丁目7-13
■9時~18時(木曜定休)



本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

公共施設 大量更新問題



最終回 将来に向けた本市の取り組み

【前回までの復習】

これまで大量に整備してきた公共施設は老朽化が進んでおり、これから一斉に改修や建て替えの時期を迎えます。

平成28年度に策定した四日市市公共施設等総合管理計画の六つの方針に沿って対策を実施することにより、私たちが安心して利用できる公共施設を維持していくよう努めています。

1



四日市市公共施設等総合管理計画に沿った対策って、どんなことをしているの？

現在、本市では、以下のような取り組みを実施しています。

- (1) 施設の長寿命化
- (2) 維持管理経費削減
- (3) 個別施設計画の策定

2



それぞれの取り組みは、具体的に何をしているの？

(1) 施設の長寿命化

施設の修理費などの維持管理費を低減させるため、不具合を未然に防止し、施設を長く健全な状態で維持できるように「長寿命化工事」を実施しています。

原則、延べ床面積が200㎡を超える施設で以下のものを対象として、計画的に実施しています。

- ① 故障した場合、建物の寿命に悪影響があるもの（外壁や屋上防水など）
- ② 故障した場合、施設運営に大きな障害が出るもの（受電設備、空調設備など）

(2) 維持管理経費削減

公共施設を維持していくためには、光熱水費や点検費用など、多くの経費が必要となります。これらの経費を削減するため、次のことを実施しています。

- ① 照明器具のLED化の推進
点灯時間が長い施設や、器具が古くLED化による効果の大きい施設から順次取り替えを行っています。
- ② 電気、都市ガスの入札による調達
各施設で使用する電気、ガスについて、安全性を維持しつつ、より安価なものを調達するために、入札を実施しています。

(3) 個別施設計画の策定

本市が所有する公共施設について、「建物情報」「利用状況」「コスト情報」などを施設ごと、地域ごとに分析し、複合化や集約化、建て替えの計画を策定する取り組みです。

現在、平成32年度までの計画策定に向け、施設ごとの情報を整理した「施設カルテ」の作成を進めており、今後は「施設カルテ」などを活用して各施設の在り方の検討、計画の策定を進めます。

策定に当たっては、広く意見を聴取し、より実効性の高い計画としていきます。



まとめ

本市では、公共施設の大量更新問題を解決するために、さまざまな事業を実施しています。

今後も将来世代への負担を残さないために、施設の安全性や行政サービスをできる限り維持しつつ、経費削減により一層努めていきます。

問い合わせ先

管財課

(☎354-8288 FAX359-0275)

有料広告掲載欄

貴金属・時計・ブランド品
高価買取中！



リフォーム・修理も承ります！

査定は無料！「これ売れるかな？」と思う物でもぜひお持ち下さい！

創業106年の歴史と信頼・実績！



アーアルテコ

0120-928-319

- 四日市市芝田1丁目6-2
- 9時～18時(木曜定休)

元気都市四日市の実現に向けて 高校生と市長の懇談会を開催

本市は、現在、市の目指すべき将来像を描き、その実現に向けた総合的かつ計画的なまちづくりの在り方を示す、2020年度を初年度とする新たな「総合計画」を策定中です。

策定に当たり、若者にとって魅力あるまち、住み続けたいと思う「元気都市四日市」の実現に向けて、本



市の将来を担う高校生の皆さんの意見を聞く懇談会を2月に実施し、北勢地区の計16校の生徒にご参加いただきました。

テーマは10年後の四日市

高校生からは、「10年後の四日市が、どのような『まち』だったら住みたい、または働きたいか」について、「公共交通が充実したまち」「子どもから高齢者までが交流できる場所があるまち」「市内にテーマパークがあるまち」「中心市街地ににぎわいがあるまち」という意見が出ました。また、学校別の選択テーマについて、「通学路に外灯がなく危ないので、地

域と連携し安全に通行できるように呼び掛けたい



「中心市街地の空き店舗を若者が活用できる取り組みをすれば、人が集まってくるのでは」など、高校生ならではの視点から出る意見もありました。今回お聞きした若者の意見を新しい総合計画に取り入れていけるよう、今後も鋭意策定を続けていきます。

問い合わせ先

政策推進課

(☎354-8112 FAX354-3974)



市内各地で開催されたイベントなどを写真と文章で紹介するコーナーです。



一足早い春の訪れ (2月7日 橋北地区)

取材に向かう際、歩道脇の花壇一面に広がる菜の花(アブラナ)に春の訪れを感じました。まだ2月なのにと驚きましたが、ちょうど暖かい日が続いていたので、花も春だと勘違いしたのかもしれません。今号が出る頃には、市内各地で黄色の花が美しく揺れているのでしょうか。



ししまい (2月11日 子ども子育て交流プラザ)

四日市横笛会「原社中」の協力の下、獅子舞が行われました。獅子に頭をかまれると、悪いことや病気から守ってもらえると言われていました。自ら進んでかんでもらいに行く子、怖がって泣いてしまう子など、会場には元気な声があふれていました。

有料
広告
掲載
欄

お子さまの教育資金を「国の教育ローン」(日本政策金融公庫)がサポート!

高校、大学等への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

【ご融資額】お子さま1人あたり**350万円以内**

【金利】年**1.78%** 固定金利

※「母子家庭」、「父子家庭」「世帯年収200万円(所得122万円)以内の方」または「子ども3人以上の世帯かつ世帯年収500万円(所得346万円)以内の方」は年1.38%(平成30年11月12日現在)

【ご返済期間】**15年以内**

※「交通遺児家庭」、「母子家庭」、「父子家庭」「世帯年収200万円(所得122万円)以内の方」または「子ども3人以上の世帯かつ世帯年収500万円(所得346万円)以内の方」は18年以内

【お使いみち】入学金、授業料、教科書代、アパート・マンションの敷金・家賃など

【ご返済方法】毎月元利均等返済(ボーナス時増額返済も可能)

【保証】(公財)教育資金融資保証基金(連帯保証人による保証も可能)



日本政策金融公庫 四日市支店

☎ 059-352-3122 平日9:00~17:00

三重県四日市市諏訪栄町1-12 朝日生命四日市ビル2階

詳しくはWebで「国の教育ローン」検索

【ご相談・お問い合わせは】教育ローンコールセンター

0570-008656

ハローコール

月~金曜日/9:00~21:00、土曜日/9:00~17:00

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

編集後記

今回は特集が「男女共同参画」なので、男女二人のシルエットを磯津公園近くの海岸で撮影しました。冬の海ということで寒さを覚悟して撮影に向かいましたが、幸い暖かく、春の陽気が感じられる時間でした。波の音が耳に心地よい中、ポーズやカメラ位置を何度も調整し、やっと撮れた一枚です。(服部)



▲手紙を持ってみたり、ハートを作ってみたり、影で分かりやすいポーズを探るのが大変でした

「男女共同参画」と聞くと言葉が堅くとっつきにくいイメージがありましたが、特集の取材を進めるうちに、実は普通の生活の中にある身近な話なのだ気付くことができました。

インタビューは「自分らしく生きる」がテーマですが、きっとご本人たちはそれを意識して活動しているのではなく、前向きに自分の道を模索して進む姿が結果として「その人らしい」のではないかと思います。いろいろな人の人生に触れることで、自分のことを見つめ直すきっかけになりました。(久徳)

広報紙で動画を見よう

- ①右のQRコードを読み取って「まるごと四日市」のサイトにアクセス
- ②表紙の「広報よっかいち」のロゴや下の「こにゅうどうくん」のイラストにスマートフォンなどをかざすと動画が見られます
※利用には無料アプリ「びこんず」のインストールが必要



ぼくにスマホをかざしてみてね!

今月の動画

- ・日永梅林梅まつり
- ・くるべ古代歴史館 企画展 古代の「門」



こにゅうどうくん

市の情報発信源 (3月)



手話・文字放送付き

放送時間 (20分間)

月・水・金・日 9:30、20:30
火・木・土 12:30、20:30

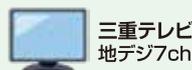
※バックナンバーをYouTubeで配信しています
※番組DVDを広報マーケティング課、市立図書館(自動車文庫を含む)、楠交流会館図書室、あざげプラザ図書館で貸し出しています

CTY 地デジ12ch

1日(金)~10日(日) コンビニ交付サービス開始
11日(月)~20日(水) 知って安心! 悪質商法の手口
21日(祝)~31日(日) 男女共同参画のまちを目指して



市長自らが番組に出演し、四日市市の魅力を発信します。奇数月の毎週土曜日21:00放送



毎月第3金曜日の「旬感☆みえ」のコーナーで市の情報を発信。3月は、15日(金)18:00に放送します



シー・ティー・ワイ エフエム



「ALO! YOKKAICHI!」(5分間)

土曜日 19:54
…ポルトガル語による市からのお知らせ

レディオキューブ♥FM三重 FM85.0MHz(市内)

「防災よっかいち」(5分間) 木曜日 12:55
…防災に関する情報をお届けします

「マンスリーよっかいち」(5分間)

第1・3・5日曜日 8:54、14:54
…市政情報をピックアップしてお届けします

「なるほど! 防災」(5分間)

月曜日 17:30、木曜日 8:30
…災害への心構えなど防災に関するお知らせ

東海ラジオ

AM1332kHz(市内)/FM92.9MHz 「1・2・3 四日市メガリジョン!!」

「よっかいち わいわい人探訪!」(5分間)

第2・4日曜日 8:54、14:54
…四日市で生き生きと活動している人の活動現場の声をお届けします

「人権を確かめあう日」(5分間)

毎月22日
3月は、7:30、12:54、16:30、18:30

日曜日 19:30

…四日市を起点に、東京~名古屋~大阪を巻き込むメガリジョン番組

市ホームページ <https://www.city.yokkaichi.lg.jp>



スマホ・タブレットで広報紙が読める!



Catalog Pocket



「よっかいち」で検索



広報用SNSやってます! アカウント名「よっかいち広報」

フェイスブック

ツイッター



有料広告掲載欄

入ってよかった
建労
四日市支部
随時加入者募集中

働きながら学ぶ夜間講習

2級建築士 受験準備講座
受講生募集

随時受付中
3月20日/月

2級建築士試験の受験者を対象にした準備講座です。ベテランの講師陣による懇切にねいな指導で、学科と設計・製図の講習をおこない、建築に関する知識のない方にもわかりやすく解説します。女性の受講生も年々増え、建築分野への進出がめざましいものがあります。

三重県建設労働組合四日市支部
四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

木造建築科 訓練生募集

随時受付中
3月20日/月

訓練校こそ
技能取得への近道。
仲間づくりの広場。

- 訓練期間 2年間(4月入校)
- 訓練日 毎週水曜日(昼間)
- 募集人員 20名程度
- 訓練内容 建築大工の養成訓練

三重県認定 四日市建設高等職業訓練校

職業訓練法人 四日市建設職業訓練協会

四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 312,223人 [1月末日現在(前年比+56)] ■火災件数 6件 [1月分(前年比-4)] ■交通事故件数 906件 [1月分]